

葦と皮で何が できる？

WHAT CAN BE DONE WITH
REED AND LEATHER?

2022年9月17日(土)
13時30分開演(12時45分開場)
りゅーとびあ
新潟市民芸術文化会館 能楽堂

大石将紀 (サクソフォン)
Masanori Oishi (Saxophone)
辻勝 (和太鼓)
Masaru Tsuji (Taiko)

INFO : <https://www.confetti-web.com/> <http://www.m-oishi.com/project/>

■チケット料金
全席指定 一般 3,500 円 / 学生 1,800 円

■チケット取り扱い

【WEB】 <https://www.confetti-web.com/>

【電話】 0120-240-540 * 通話料無料 (受付時間 平日 10:00 ~ 18:00 * オペレーター対応)

【窓口】 りゅーとびあインフォメーション * クレジットカード不可 (受付時間 11:00 ~ 19:00 * 営業日はりゅーとびあ開館日に準ずる)



オンラインチケットはこちら

WHAT CAN BE DONE WITH
REED AND LEATHER?

2022年9月17日(土)

13時30分開演(12時45分開場)

葦と皮で何が できる？

『葦と皮で、できたものは』

珍しい組み合わせだ。だが、現代音楽のエキスパートとしてかねて熟知の大石さんと、ここ「りゅーとぴあ」開館時に僕も曲を書いた「鼓童」出身の辻さん。この二人なら、葦(リード)と太鼓の皮から想像もつかない何かを作ってしまうだろう。アラビアンナイトの魔法使いか、ドラえもんのように。果たして圧倒的な音楽を作ってしまった。驚き！

(池辺晋一郎)

サクソフォンと和太鼓、国も違えば歴史も違う、2つの楽器が組み合わさった時、一体何ができる？

このコンサートはサクソフォン奏者大石将紀がサクソフォンと邦楽器のための作品を委嘱し発表するプロジェクトの第2回目として行った「サクソフォン×箏、和太鼓」で生まれた作品2曲を中心に、今まで出会わなかった2つの楽器の可能性をより深堀すべく、新たな曲を加え拡大して行うコンサートです。懐かしい音楽から新しい響きまで、ぜひお楽しみください。

りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館 能楽堂

〒951-8132 新潟県新潟市中央区一番堀通町 3-2



- ・本公演は新型コロナウイルス感染拡大防止対策を徹底し実施致します
公演 URL (<http://www.m-oishi.com/project/>) にて「ご来場のお客様へのご願い」をご一読くださいますようお願い申し上げます
- ・本公演はマスクは着用されていない方のご入場はお断り致しますのでご了承ください
- ・未就学児のお子様はご入場できません
- ・やむを得ない事情により、公演が中止・変更、曲目も変更になる場合がございます
- ・車椅子席の方はチケットご購入前に以下の問い合わせまで必ずお問合せ下さい

公演に関するお問い合わせは、

サクソフォン × 邦楽器 × 現代音楽実行委員会

(080-6686-8865/info@inanakiya.com) までお願い致します

Inquiries should be directed to 080-6686-8865 or info@inanakiya.com

ジョン・ケージ「龍安寺」(1983/85)

John Cage: Ryoanji (1983/85)

お山参詣登山囃子 (採譜・編曲 村山二郎)

Oyama Sankei Tozan Bayashi

(Transcription/arrangement: Jiro Murayama)

池辺晋一郎「葦と皮で何ができる？」(2019 委嘱作品)

Shin-ichiro Ikebe: What Can Be Done with Reed and Leather?

(2019)

和太鼓独奏「道行～大太鼓」

Taiko solo: Michiyuki ~ Odaiko

杉山洋一「Jeux III」(2019 委嘱作品)

Yoichi Sugiyama: Jeux III (2019)

藤倉大「Bueno Ueno」(2019)

Dai Fujikura: Bueno Ueno (2019)、他

大石将紀 (サクソフォン)

サクソフォン奏者としてクラシック音楽、特に現代音楽のジャンルで活躍し、これまでに数々の日本初演を手がける。

東京藝術大学卒業、同大学大学院修了後、03年に渡仏しパリ国立高等音楽院に入学。サクソフォン科、室内楽科、即興演奏科を全て最優秀の成績で卒業後、08年帰国。その後は国内を初めヨーロッパやアジアにおいて音楽祭の出演やリサイタルを開催。第13回佐治敬三賞、令和元年度文化庁芸術祭レコード部門優秀賞受賞。現在大阪音楽大学特任准教授、東京藝術大学、洗足学園音楽大学講師、エリザベト音楽大学特別講師。www.m-oishi.com

辻勝 (和太鼓)

北海道様似郡様似町出身。「太鼓芸能集団 鼓童」のメンバーとして20年間活動した後、2016年に独立、東京に拠点を移す。市川海老蔵主演『石川五右衛門』での大太鼓演奏を皮切りに、歌舞伎作品に数多く出演。自身の主催公演『三の奏』を定期的実施する他、現代音楽、創作太鼓、映画コンサート等、様々なジャンルの公演にゲスト出演している。これまでに出演した舞台は世界24カ国、日本全都道府県で2,000回を超え、共演した国内外のアーティストは、バレエダンサー、ガムラン奏者、オーケストラ、空手家、コンテンポラリーダンサー、狂言師など多岐に渡る。指導者としては、和太鼓スクール HIBIKUS 横浜にて講師を務める傍ら、各地でワークショップも行っている。https://masarutsuji.wixsite.com/wadaiko

文化庁「ARTS for the future!2」補助対象事業

協賛：野中貿易株式会社、有限会社様似共栄牧場

協力：岡村屋本舗

舞台監督：志村典隆 (ゲッジョブ)

主催・制作：サクソフォン × 邦楽器 × 現代音楽実行委員会

INFO : <https://www.confetti-web.com/>
<http://www.m-oishi.com/project/>

Vandoren
PARIS

HENRI
SELMER
PARIS

NONAKA

AFF2
ARTS for the future! 2